横浜地方法務局長賞（最優秀賞）

作品タイトル　みんなが輝く差別ない世界へ

学校・学年　茅ヶ崎市立浜須賀小学校　5年　　氏名　原田　あさひ



作品について伝えたいこと

どんな肌の人でも、みんなが同じ人間としての権利を持っているから差別を無くしたいと思いました。

神奈川県人権擁護委員連合会長賞（優秀賞）

作品タイトル　個性を　認めよう

学校・学年　横浜市立新石川小学校　6年　　氏名　村上　陽菜



作品について伝えたいこと

一人一人個性があって、肌の色などにかかわらず、認め合うことが大切だということを伝えたいです。

神奈川県人権擁護委員連合会長賞（優秀賞）

作品タイトル　差別はやめて　みんな仲良く

学校・学年　茅ヶ崎市立鶴嶺小学校　6年　　氏名　味村　真景



作品について伝えたいこと

この星にすむ人全員が、はだの色や体の大きさなどで、区別をつけないでほしい。

神奈川県人権擁護委員連合会長賞（優秀賞）

作品タイトル　「おともだち」　なんどもいうよ　またあした

学校・学年　愛川町立中津第二小学校　1年　　氏名　馬場　詩



作品について伝えたいこと

今日がとても楽しかったから何度でも「またあした」って言いたくなる。ありがとうのかわりに何度でも、またあした。・・・明日が楽しみだな。またあした！

神奈川新聞社賞

作品タイトル　なかよくおさんぽ　楽しいね

学校・学年　横浜市立瀬谷小学校　4年　　氏名　菊地　貴仁



作品について伝えたいこと

おばあちゃんは一人では歩けなくなったけど、手をつないだり車いすにのれば、いっしょにおさんぽできる。さくらを見たり、虫をみたり、のんびりだけど楽しい時間です。

ｔｖｋかながわMIRAI賞

作品タイトル　一匹の蝶が自由に舞う青空　夕陽に包まれる温かい心

学校・学年　横浜市立藤が丘小学校　5年　　氏名　齋藤　蘭渚



作品について伝えたいこと

青空を自由に飛ぶ蝶は、私たち一人ひとりの姿です。みんなが自分の個性を大切にして、夕陽のような温かい心でおたがいを包み込める、やさしい世界になってほしいというねがいを込めました。
そして、夕陽は、人を思いやる「温かい心」です。

アール・エフ・ラジオ日本（にっぽん）賞

作品タイトル　もう、だれも傷つけなくていいんだよ

学校・学年　伊勢原市立石田小学校　6年　　氏名　グェン　タオ　ニ



作品について伝えたいこと

この絵の真ん中にあるのはコケが生えた古い戦車です。
昔は、戦車などを使い戦争をしていました。それがなくなり、戦車の右下にうさぎが「安心して」ねむっています。いつか、戦争がおわったらいいと思います。

D－YCAP（ダイバーシティ横浜市民アートプランナー）賞

作品タイトル　ありがとうのキャッチボール

学校・学年　横浜市立一本松小学校　2年　　氏名　飯田　湊



作品について伝えたいこと

大きいこえでありがとう

奨励賞

作品タイトル　ごめんなさい　いえたよ

学校・学年　横浜市立一本松小学校　1年　　氏名　仁尾　賢治



作品について伝えたいこと

ごめんなさいは
まほうのことばだから
いえるようになりたい

奨励賞

作品タイトル　みんなだいすき　みんなたいせつ

学校・学年　伊勢原市立伊勢原小学校　2年　　氏名　赤﨑　夕維百



作品について伝えたいこと

かぞくやともだち、たいせつなひとたちをかきました。みんなぼくにとってだいすきでたいせつなひとたちです。

佳作

作品タイトル　自分だけの　花をさかせよう

学校・学年　横浜市立今宿南小学校　4年　　氏名　内田　紗綾



作品について伝えたいこと

周りに何かいやなことを言われても、自分の意思をしっかり持って、前に進んでいけたらいいなと思って絵にしました。

佳作

作品タイトル　言葉のハグをしよう　辛かったね　泣いてもいいんだよ　頑張ってるね

学校・学年　相模原市立向陽小学校　5年　　氏名　大野　結愛



作品について伝えたいこと

人は一言で傷つくことがあるけれど、同じ一言でも言葉の種類がちがうとその言葉が支えになることがあります。心を包んでくれる一言には、傷をやさしくいやしてくれる力もあります。

佳作

作品タイトル　えがお

学校・学年　伊勢原市立大田小学校　3年　　氏名　杉山　結愛



作品について伝えたいこと

つらいことがあってもいつかたのしいこともあるよ

佳作

作品タイトル　個性を　解き放て

学校・学年　横浜市立新石川小学校　6年　　氏名　齊藤　迅



作品について伝えたいこと

自分を見失ってしまうような暗い場所でも、自分の個性を誰でも解き放つことができるような世界がいいなと思って描きました。また、個性を金や銀で表現することで個性は周りから見たら明るいものだということも表現しました。

佳作

作品タイトル　その笑顔わたしに向けてほしいな

学校・学年　伊勢原市立石田小学校　6年　　氏名　山田　知花



作品について伝えたいこと

友達の家にきているのにスマホばかり見て面白そうに笑っている友達を見ていて私に向けてほしいと思う事があり、悲しくなりました。このような経験から、この作品をかきました。

佳作

作品タイトル　えがおのバトンをつなげよう

学校・学年　伊勢原市立伊勢原小学校　3年　　氏名　早野　航世



作品について伝えたいこと

リレーをするバトンのようにえがおのバトンがどんどんつながっていったらすてきだなと思って書きました。

佳作

作品タイトル　うれしい言葉をあげて　笑顔の花を咲かせよう！

学校・学年　伊勢原市立伊勢原小学校　6年　　氏名　三井　柚衣



作品について伝えたいこと

だれもがうれしい言葉を他の人にあげることにより、笑顔が広がり、言った人も言われた人も幸せになることを伝えたい。

佳作

作品タイトル　とつきとおか　いのちのはじまり

学校・学年　愛川町立中津小学校　2年　　氏名　石塚　茉莉



作品について伝えたいこと

わたしは、大きくなったらじょさんしさんになりたかったからこの絵を書きました。メインは、ママのおなかの中にいる赤ちゃんです。いのちの大切さをかんじてほしいです。

佳作

作品タイトル　良い一日を　ありがとう！

学校・学年　愛川町立菅原小学校　4年　　氏名　佐藤　颯



作品について伝えたいこと

この絵の幸せは、みんなが遊んだり、助け合ったりしている所です。それから、この絵ではより、みんなの明るさや、思いやりが伝わってきます。ぼくがこの絵に入ったら、きっと、もっと幸せでしょう。この絵のねがいは、今戦争している国も戦後は、この絵のように、みんなが楽しんでいる事です。

佳作

作品タイトル　あなたがつらくなったとき　思いっきり声をあげていい　叫べ　”あなたの”　気持ちがききたい

学校・学年　横浜市立山元小学校　6年

氏名　澤山　薫



作品について伝えたいこと

ひとりでは声をあげるのが難しい悩みやつらさもあると学校のスピーチコンテストや作文学習を通して考えました。
この絵を描くこと、そしてたくさんの声をあげる人を描くことで「ひとりじゃない」「辛さを言っても共感してくれる人はいる」ということを伝えたいです。